

人との再会に、少し照れながらも表情を和らげていました。

石原市長は式典の中で「これからの人生で、皆さんの前にさまざまな壁が立ちほだかるかもしれない。そんなとき、ふるさとの潮の香りや風の音、おいしい食べ物、そして、ここにいるかけがえのない仲間たちが、一歩踏み出す勇気を与えてくれることでしょう。魅力ある御前崎市のために、ともに汗をかき、知恵を絞っていきましょう」と、新成人を激励しました。

成人代表の狩野拓海さんと長尾有紀美さんは「自分を信じ、希望を捨てず、前を向いて進んで行きたい」「御前崎市で生まれ育ったという誇りと成人としての決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいく」と、力強く誓いの言葉を述べました。

式典の後半では、ふるさと御前崎への関心を深め、魅力を再発見してもらおうと、新成人に向けたビデオメッセージを上映。市内で活躍するメロンやお茶、遠州夢咲牛の生産者などから「未来を変えよう」「努力無限」「一緒に頑張ろう」といった言葉が贈られると、新成人たちは真剣な表情で聞き入り、未来への希望を胸に目を輝かせました。

⑤～⑦色とりどりの振り袖や真新しいスーツを身にまとい、友人との再会に笑顔があふれる⑧晴れ着姿をカメラに収める⑨着物の色や柄、帯の結び方にもそれぞれの個性が光る



成人式の歴史

皆さんは、成人式がいつから始まったか、ご存じですか。

成人式は、昭和21年に埼玉県蕨町(現・蕨市)で行われた「青年祭」がもとになっています。戦後の厳しい社会情勢の中で、次世代を担う若者を励まし鼓舞しようと、同町青年団が企画しました。それが全国に広まり、「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」という趣旨で、成人の日が制定されました。かつては1月15日が成人の日となっていました。平成12年以降は1月の第二月曜日とされています。

①看板の前で仲良くパシャリ②友人を見つけて思わず駆け寄り③懐かしいメンバーと恩師を囲んで記念撮影④式典では新成人が司会を務めた